

## 2008年4月22日開催 第527回 番組審議会

### ■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員  
岸本卓也委員 東野博昭委員

### ■ 毎日放送出席者

山本会長 河内社長 田中専務 上田専務 山西常務 松島常務  
西岡ラジオ局長 三村制作局長 東編成局長 熊報道局長  
木田コンプライアンス室長 豊田メディア局長

### ◆ 「放送のデジタル化の現状と課題について」

毎日放送の第527回番組審議会は4月22日大阪市北区の本社で開かれ、豊田メディア局長が「放送のデジタル化の現状と課題」をテーマに報告、説明しました。

現在の地上アナログテレビ放送は、2011年7月24日までに地上デジタルテレビ放送に完全移行し、終了することになっているが、審議会で豊田メディア局長は、3年後に迫ったデジタルへの完全移行に向けて視聴者の混乱を招くことのないよう行われている受信環境整備の取り組みや、放送を通じた周知広報を説明したほか、放送法の一部改正などデジタル化の諸問題について報告しました。

また、「デジタル放送はアナログ放送に比べ、きめ細かな高画質で、音もCD並みのいい音質であること。双方向機能を利用したクイズ参加などの番組連動のほか、天気予報や文字ニュースなどのデータ放送も利用できる」など、デジタル放送の特長、魅力について説明しました。

2011年段階でもデジタル放送が見られないと推定される60万世帯は衛星放送でカバーするという難視聴救済策について、委員から「東京キー局の番組を流すということだが、地方の難視聴地域の人にはキー局の番組が見られるのに、山を一つ越えると、地元のテレビを見なければならないのは逆の格差になるのではという一部での指摘もあるようだ」との話がありました。豊田局長はこのケースで衛星で見られる番組は今のSD標準画質であり、地上デジタルで見えていただけるまでの臨時措置であることを説明しました。

このほか、委員からは「去年デジタルテレビを買ったが、それまでより見ている時間が増えた。クイズ番組にいっしょに参加することで、親子のコミュニケーションツールになっている。デジタルテレビが新しい楽しみ方、有効な生活を提供できたらいい」、「デジタル化で画面はきれいになるが、やはり番組のおもしろさ、ソフト力が大事なのだろう」などの感想や意見が出されました。

#### ◆委員の交代について

(株)マザーネット社長の上田理恵子さん、毎日新聞大阪本社編集局長の岸本卓也さんの新委員2人が4月例会に初参加されました。

◆「関西テレビ放送の民放連への再入会」について山本会長が報告しました。

◆「光市母子殺害事件の差戻控訴審に関する放送についてのBPOの放送倫理検証委員会の意見」の内容を木田コンプライアンス室長が報告しました。